

# ロールボックスパレット

## 使う前の5つの基本チェックリスト

ロールボックスパレットを使う時は、次のチェックリストで、基本の作業方法を点検しましょう。あなたや周りの人たち、そしてあなたの運ぶ大切な荷物を守るため、**すべての項目にチェックがついた状態になってから、作業を始めましょう。**

### 作業前点検リスト

確認日	確認担当者名
年 月 日	
<input type="checkbox"/>	<b>倒れそうになったら無理に支えず逃げること</b> 人が支えられる重さではありません。とにかく身を守ることが優先です
<input type="checkbox"/>	<b>停止時は必ずキャストーストッパーを使用すること</b> わずかな傾き、風でもパレットが勝手に走り出すことがあります
<input type="checkbox"/>	<b>原則として、傾いた場所では使用しないこと</b> わずかな傾きでもパレットが思わぬ方向に動き、転倒するおそれがあります
<input type="checkbox"/>	<b>両手で持って運搬すること</b> 片手で引っ張ると、止める時にパレットをコントロールできず止められないことがあります
<input type="checkbox"/>	<b>作業にふさわしい装備をすること</b> 手足の保護だけでなく、しっかりと操作できる装備が不可欠です

ロールボックスパレット使用時の労働災害防止マニュアル

### 安全に作業するための

## 8つのルール

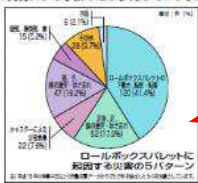


とても便利なロールボックスパレットですが、下働きや手足の負傷による事故などが多発しています。

ロールボックスパレットは、カゴ車とも呼ばれる人力運搬車です。開口部以外の3面がパネルで囲まれているため、荷物や荷物の搬送を効率的に移動させるだけでなく、店舗では接客機として活用することもできます。このように、物流の効率化や作業者の負担軽減に貢献する、とても便利な存在で、多くの現場で活用されています。

そんな利便性の高いロールボックスパレットですが、近年では労働災害が多発しており、その約4割が下働き事故でした。また、ケガをした半数近くの方が作業経験1年未満だったことから、作業に不慣れな現場での対策が求められます。

このリーフレットでは、ロールボックスパレットを使うときに、守ってほしい「8つのルール」を紹介しています。ぜひ、お読みになって、安全に作業を行ってください。



作業者に身につけてほしい望ましい装備例



パンフレット「ロールボックスパレット使用時の労働災害防止マニュアル安全に作業するための8つのルール」も**ご確認ください。**



テールゲートリフターのチェックリストは裏面へ▶

